

資料2

湖 創 第 2 7 8 号
令和3年(2021年)5月13日

各地域まちづくり協議会会長 様

湖南市長 生 田 邦 夫

アフターコロナにおける地域運営組織を見直すワークショップ の開催について(依頼)

平素は、市行政にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年度は、地域まちづくり協議会と区(自治会)のあり方の検討について、熱心に取り組んでいただきありがとうございました。

今年度は引き続き、地域運営組織を見直すためのワークショップを下記のとおり全2回にて開催いたします。

つきましては、お忙しいところ恐縮に存じますが、貴協議会より、会長・副会長・事務局長の3名の方にご参加をいただきますようお願いいたします。

なお、このワークショップでは事前に別紙の「地域まちづくり協議会事業 洗い出しシート」をご記入いただき、当日ご持参ください。

また、他には全区長に別途参加を要請しております。

記

- 日 時 第1回 令和3年(2021年)6月9日(水)
第2回 令和3年(2021年)7月10日(土)両日ともに午前10時～正午
- 場 所 湖南市総合体育館(湖南市夏見589)
- 内 容 アフターコロナにおける地域運営組織を見直すワークショップ
※学区ごとに各地域まちづくり協議会役員と各区長のグループで実施
- 講 師 米山 哲司 氏
(NPO法人 Mブリッジ代表理事/キャリアコンサルタント)

総合政策部 地域創生推進課
地域コミュニティ推進係 青木、藤本、平井
電話 0748-71-2315 (直通)
ファックス 0748-72-2000
E-mail koukyou@city.shiga-konan.lg.jp

資料2

湖 創 第 2 7 8 号
令和3年(2021年)5月13日

各区長 様

湖南市長 生 田 邦 夫

アフターコロナにおける地域運営組織を見直すワークショップ の開催について(依頼)

平素は、市行政にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年度は、地域まちづくり協議会と区(自治会)のあり方の検討について、熱心に取り組んでいただきありがとうございました。

今年度は引き続き、地域運営組織を見直すためのワークショップを下記のとおり全2回にて開催いたします。

つきましては、お忙しいところ恐縮に存じますが、ご参加をいただきますようお願いいたします。

なお、このワークショップでは各区が抱える事業への課題などを共有し、進めてまいりますので、事前に別紙の「区事業洗い出しシート」の内容を区役員会等で協議いただき、ご記入のうえ、当日ご持参ください。

また、他には地域まちづくり協議会に別途参加を要請しております。

記

- 日 時 第1回 令和3年(2021年)6月9日(水)
第2回 令和3年(2021年)7月10日(土)両日ともに午前10時～正午
- 場 所 湖南市総合体育館(湖南市夏見589)
- 内 容 アフターコロナにおける地域運営組織を見直すワークショップ
※学区ごとに各地域まちづくり協議会役員と各区長のグループで実施
- 講 師 米山 哲司 氏
(NPO法人 Mブリッジ代表理事/キャリアコンサルタント)

総合政策部 地域創生推進課
地域コミュニティ推進係 青木、藤本、平井
電話 0748-71-2315 (直通)
ファックス 0748-72-2000
E-mail koukyou@city.shiga-konan.lg.jp

区事業洗い出し

各区が抱える課題を学区全体で共有し、地域まちづくり協議会(まち協)でできること、各区ですべきことを確認し、その方法等を検討することで、各区の負担を軽減し、区運営が持続

領域	区分	事業名	事業を実施している理由	問題	問題が発生する理由(=課題)	事業を現状のまま継続する
ふれあい事業	ふれあい交流	例: 体育祭	区民の交流を図るため	例: 参加者不足、準備が大変、マンネリ化	高齢化、人手不足、積極的に関わる人が同じま たはいない	
		例: グランドゴルフ大会	区民の交流を図るため	特になし		○
課題解決事業	安心安全	例: 見守り活動、防災訓練	有事の際に適切に行動・連携でき るようにするため	例: 区境の危険箇所の対応が出来ない、広域 避難の想定が区単独ではできない		
	環境整備	例: 清掃活動	住みよい地域環境を維持するため	例: 区境や未加入者地域は実施出来ていない		
	地域福祉	例: 子育て支援	地域全体で次世代の育成を支援 するため	例: 若い世代の需要が聞けていない、企画が難 しい		
	人づくり	例: 人権研修、地域学習	地域内での良好な人間関係を築く ため	例: 区単独での開催は負担が大きい、講師等 人材が少ない、単年の役員では企画が難しい		
ステップアップ	例: 区加入者促進	同じ生活エリアで暮らす者同士の 協力体制を強固にするため	例: 区を抜ける人・未加入者の増加			

シート

できる仕組みを考えるためのものです。各区役員会の中で協議いただき、その結果をこのシートにまとめて学区で共有をしていただきますので、ご協力をお願いします。

課題解決方法				選択理由
事業のやり方を変えて継続する	区だけでなく広域的に事業に取り組む	他の誰かに事業を委ねる	事業を廃止する	
	○			例：学区単位で開催すれば、役員人数の負担が少なくなり、効率的に運営が可能。また、区外の人との交流の輪が広がる。
				例：全体の参加者が多く、新たに参加される方も多いため、現状のまま継続すべき
例：見守り活動	例：防災訓練			例：学区で連携すれば必要な箇所を見守ることができる まち協と連携すれば、広域避難想定訓練ができる
	○			例：区単独ですべきところは区で実施するが、まち協と連携すれば、学区の全体的な環境整備もできる
	○			例：需要把握のアンケートや企画をまち協でもらえれば、区の負担が少なくとも実施ができる
		○		例：学校や職場等様々な場所で学ぶ場が設けられている中で、区として実施する必要がないと考えるから。ただし、良好な人間関係を築く機会には研修や勉強会とは異なる形で検討する。
○				例：加入促進の方法のみならず、区加入による負担を軽減し、誰もが関わりやすい組織運営にするため検討する。

区事業洗い出しシート

現在の区事業について、事業を実施するうえでの問題点や、その方法等を検討することで、区の負担を軽減し、区運営が持続できる仕組みを考えるためのものです。各区役員会の中で協議いただき、その結果をこのシートにまとめてください。

区分	事業名	この事業は何のために実施しているのでしょうか(理由)	事業で困っていることは何でしょうか(問題点)	2030年の事業のあり方					備考
				今のまま区が継続	やり方を変更し区が継続 <small>※変更点を備考欄へ記入</small>	区だけでなく広域で継続	他の誰かに委ねる <small>※委譲先を備考欄へ記入</small>	廃止 <small>※代替案があれば備考欄へ記入</small>	
福祉	例:子ども会	次世代の育成を支援するため	企画や準備が大変。 子どもや若い世代の望む内容がわからない。		○				
	例:敬老会	高齢者の長寿を祝い、交流を図るため	企画や準備が大変。		○				
人づくり	例:人権まちづくり懇談会	人権意識を高めるため	実施内容の検討など企画することが大変。				○		
その他	例:区加入者促進	地域のコミュニティを維持するため	脱会者や加入者の増加が課題。		○				

※事前に記入いただき、6/9(水)地域運営組織を見直すワークショップにご持参ください。

地域まちづくり協議会事業 洗い出しシート

現在のまち協で取り組む事業をすべて記入してください。

区分 (部会)	事業名
ふれあい交流	例：体育祭、グランドゴルフ大会
安心安全	例：防災訓練、通学路点検
環境整備	例：花いっぱい運動、防災訓練
福祉	例：子ども食堂、高齢者サロン
人づくり	例：人権まちづくり懇談会
その他	

※事前に記入いただき、6/9(水)地域運営組織を見直すワークショップへご持参ください。